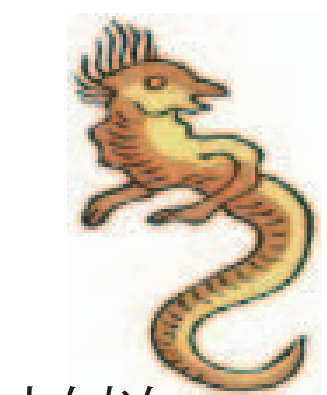


虫 わかりにくい症状の病

「虫」という病気は、1つは寄生虫症で、もう1つは「疳の虫」などの小児の神経過敏を指しました。江戸時代までは病気の原因や症状を明確に説明できる情報がなかったため、わかりにくい病気を「虫」のせいであるとしたのではないかと考えられています。



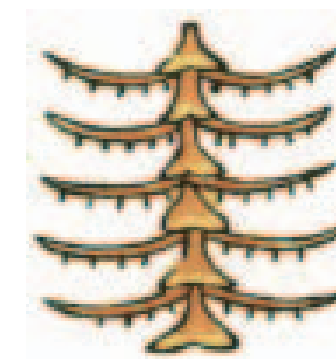
しんかん
心疳の虫



きょうふう
驚風の虫



ひかん
脾疳の虫



ろうがい
労咳の虫



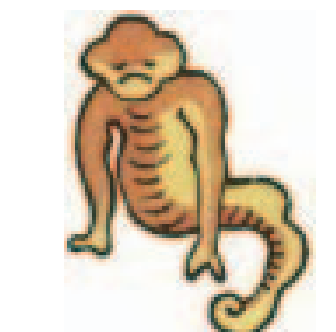
はいかん
肺疳の虫



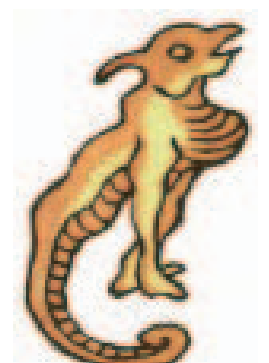
夜泣き虫



しゃく
癩



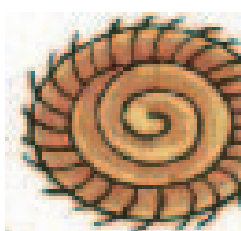
じんかん
腎疳の虫



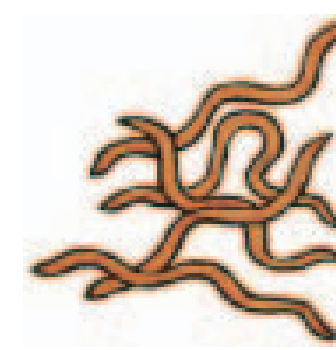
かたかい
片貝の虫



かん
疳の疳虫



かいの虫



くわいちゅう
蛔虫の虫

紙看板「セメンシイナ丸」

回虫駆虫剤の広告。薬の名前の周囲に想像上の病気の「虫」の姿が描かれている。